

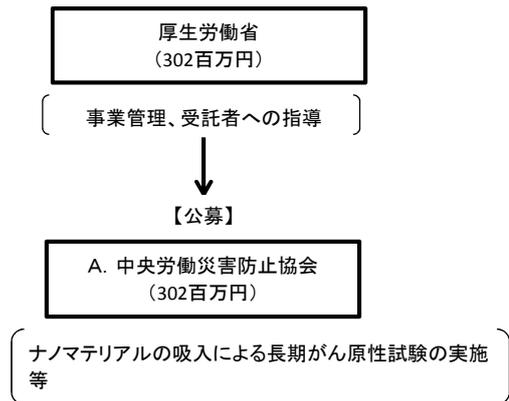
平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	ナノマテリアルの有害性等調査事業		担当部局庁	労働基準局安全衛生部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度開始・平成26年度終了予定		担当課室	化学物質対策課化学物質評価室		角田 伸二		
会計区分	労働保険特別会計 労災勘定		政策・施策名	Ⅲ-2-1 労働者の安全と健康が確保され、労働者が安心して働くことができる職場づくりを推進すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号		関係する計画、通知等	第12次労働災害防止計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	現在、ナノマテリアルの労働者への生態影響は未知であることから、ナノマテリアルに係る有害性等の情報収集を行うことを目的とする。また、ナノマテリアルの作業環境中における挙動等を明らかにする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①ナノマテリアルの吸入による長期がん原性試験の予備試験を行うための試験装置の改造及び性能確認試験の実施 ②遺伝毒性試験によるナノマテリアルに係る有害性等の情報収集 ③ナノマテリアルの有害性調査に関するOECD等の国際会議への出席 ④ナノマテリアルの作業環境中における測定・評価及びナノマテリアルのばく露防止対策等について国内外の情報収集							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	179	111	302	174	121	
	執行額	159	110	302				
執行率(%)		89%	99%	100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	単一物質の試験であり、また、長期にわたって試験等を行う事業であることから、定量的なアウトカム指標の設定は困難(各年度ごとの状況は下記のとおり)。		成果実績	-				-
	(~平成23年度)平成24年度以降に実施予定の長期の吸入ばく露試験を行うための予備試験の実施中であるため、アウトカムは設定できない。 (平成24年度)2年間にわたる長期の吸入ばく露試験を行うものであるため、平成24年度に限ったアウトカムは設定できない。 (平成25年度)26年度の初めまで吸入ばく露試験を行い、その後26年度末までに標本作製、検鏡、報告書作成を行うものであるため、円滑に平成26年度事業につなげられるように適		達成度	%				-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	単一物質の試験であり、また、長期にわたって試験等を行う事業であることから、定量的指標の設定は困難であるが、定性的指標としては下記のとおり。		活動実績		目標達成	目標達成	目標達成	
	(~平成23年度まで) 長期発がん性試験方法の確立のため、ナノマテリアル吸入ばく露装置の改造及び予備試験を行う。 (平成24~25年度)ナノマテリアル吸入ばく露装置を用いて長期試験を実施する。		活動実績 (当初見込み)		(ナノマテリアル吸入ばく露装置の改造及び予備試験(2週間ばく露試験)を実施する)	(ナノマテリアル吸入ばく露装置予備試験(13週間)を実施する)	(ナノマテリアル吸入ばく露装置長期試験(2年間のうちの1年間)を実施する)	(ナノマテリアル吸入ばく露装置長期試験(2年間のうちの残り1年間)を実施する)
単位当たりコスト	-		算出根拠	単一物質の試験であり、「単位」に分割できない。				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	委託費	174	121	試験のうち特に費用のかかる長期吸入試験が平成26年度中に終了するための減。				
	計	174	121					

事業所管部局による点検							
	項目	評価	評価に関する説明				
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	ナノマテリアルは新たなものが次々と開発されているが、その安全性については、未だ不明な点が多く、国内外を問わず高い関心が寄せられている。また、労働現場におけるナノマテリアルの取り扱いも増加しているところ、労働者の保護のため、その有害性の有無を明らかにすることは急務となっている。 しかしながら、その安全性に係る調査・研究を行うためには、高度な実験設備や技術が必要となるところ、一般の事業者が実施することは困難であり、国が実施する必要がある。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	ナノマテリアルの安全性に係る調査・研究を行うためには、高度な実験設備や技術が必要となり、それらの条件を整えることができる主体には限りがあること、又、労働安全衛生法において、国自ら化学物質の有害性調査を実施するよう努めることが規定されていることも踏まえ、国が実施すべきものである。				
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	本事業は発がん性未知の化学物質の有害性を調査するものである。職場における化学物質管理の強化は、厚生労働省が重点施策として掲げる課題の一つであり、本事業の結果を踏まえて管理措置の内容を決定するものであることから、本事業は優先度の高い事業に位置づけられている。				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	△	調査研究等に必要となる特定の設備又は特定の技術等を有する者が極めて限られていることから、1者のみの応募が見込まれるところ、平成24年度は公募により調達を実施した。平成25年度も同様の方式により実施。				
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	事業場で用いられるナノマテリアルの安全性について調査研究を行う本事業は、ナノマテリアルを取り扱う労働者の保護に資するものであり、事業者及び労働者双方に有益なものであるところ、受益者との負担関係は妥当である。				
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—	—				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—	—				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	使途は、ばく露試験を行う研究者に係る人件費や、試験で使用する消耗品、試験用機材を稼働させるためにかかる経費等、事業の運営に必要なものに限定されている。				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—	—				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	—	—				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	見込みに合った活動実績となっている。				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	平成24年度に開始した実験は、平成25年度に引き続き実施している。また、これまでに得られた成果(新たに開発した試験手法等)については、OECDのナノマテリアルに関する会合で発表するなど活用している。				
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—	類似する事業はない。				
	事業番号	類似事業名					所管府省・部局名
点検結果	本事業においては、高度な試験設備・技術が必要になるためになかなか一般には進んでいないナノマテリアルの安全性に係る調査研究(活動指標である長期試験の実施)が、順調に進められており、又、これまでに得られた評価も国内外で活用しているところ、有効に事業が運営できているものと評価できる。 引き続き有効な事業の運営に努めてまいりたい。						
外部有識者の所見							
点検対象外							
行政事業レビュー推進チームの所見							
現状通り	職場におけるナノマテリアルの安全性に係る調査研究のための事業であり、本事業の必要性の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき(必要な予算措置に努めること)。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
現状通り	—						
備考							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
	平成22年	650-53	平成23年	961	平成24年	812	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

ナノマテリアルの有害性等調査事業



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.中央労働災害防止協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
試験資機材費	試験機材借料、実験用消耗品、燃料費等	113			
試験研究員役 務費等	試験研究員役務費等	108			
委託業務従事 者経費	委託業務従事者経費	57			
旅費	専門家旅費等	2			
その他庁費	印刷製本、通信費等	8			
消費税	消費税	14			
計		302	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	中央労働災害防止協会	ナノマテリアルの吸入による長期がん原性試験の実施等	302	随意契約	